

相武台自治会だより

第46号
令和6年2月17日発行

相武台神社で元旦祭が行われました

1月1日（月）に、相武台神社境内にて、新たな良き年を祈願する元旦祭の神事が執り行われました。

早朝から鳥居前に並んでいた初詣の方々には一旦お待ち頂き、神前にて座間神社の宮司による新年の祝詞奏上と祈願の後、氏子代表、関係団体代表、そして座間市長、各議員が玉串礼拝を行って、式典は終了致しました。

その後、神殿から広場に場所を移して、参加者全員で皆様の本年益々のご健勝を願いながら御酒の杯を傾けました。

中断していた初詣の方々は更に増えておりましたが、厳かな式典とあって、トラブルもなく、その後スムーズにお参りをして頂きました。



相武台神社で「どんど焼き」が行われました

1月13日（土）に、相武台神社恒例の伝統行事である「どんど焼き」が行われました。

納められていた「松飾りやお札」は、一点一点氏子委員により不燃物が選別されて、焼却物を炉の中央に積み上げられ、干支の氏子委員の手で、炉の四方に散酒の儀式を行った後、いよいよ火入れとなりました。

お待ち頂いたお子様からご年配の方々に、一大家族一本で250食用意した団子の串刺しが渡されて、年神様の神火で焼いてもらいました。なかなか焼けなかったり、真黒に焼けてしまったりする方もおられましたが、最後は笑顔でお持ち帰り頂きました。その後も「松飾りやお札」を持った方々が続々と訪れ、伝統行事を楽しんでいました。

また、訪れた方々には「甘酒」と「豚汁」と「ポップコーン」が振る舞われ、あったかくておいしそうに食べていました。最後は消防団員の手で慎重に消火してもらって、正月最後の神事を何事もなく、無事に終了することができました。



なお、神社の意向により、境内には能登半島地震への義援金の箱が設置され、寄付の呼び掛けを行った所、多くの方々にご厚志を頂きました事を感謝申し上げます。